令和5年度　自己点検・自己評価　　学校運営評価

学則　第4条　本校は、その教育の一層の充実を図り、本校の目的及び社会的使命を達成するため、
本校における教育活動等の状況について、自ら点検及び評価を行うものとする。

目標　教育活動やその他の学校運営について、達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について評価・
公表し、学校としての組織的・継続的な改善を図る。

評価期間：　令和5年4月～令和6年3月の1年間

実施者：　教職員17名

評価項目：　120項目

評価尺度：　当てはまる　3
やや当てはまる　2
当てはまらない　1

表1　令和4・5年度の評価平均比較

| カテゴリー | | 令和5年度 | 令和4年度 |
|---|---|---|---|
| Ⅰ | 教育理念・教育目的 | 2.9 | 2.9 |
| Ⅱ | 教育目標 | 2.9 | 2.8 |
| Ⅲ | 教育課程経営 | 2.8 | 2.7 |
| Ⅳ | 授業・学習・評価 | 2.8 | 2.7 |
| Ⅴ | 経営・管理過程 | 2.8 | 2.7 |
| Ⅵ | 入学 | 3.0 | 2.8 |
| Ⅶ | 卒業・就職・進学 | 2.3 | 2.3 |
| Ⅷ | 地域社会・国際交流 | 2.5 | 2.4 |
| Ⅸ | 研究 | 2.4 | 2.2 |

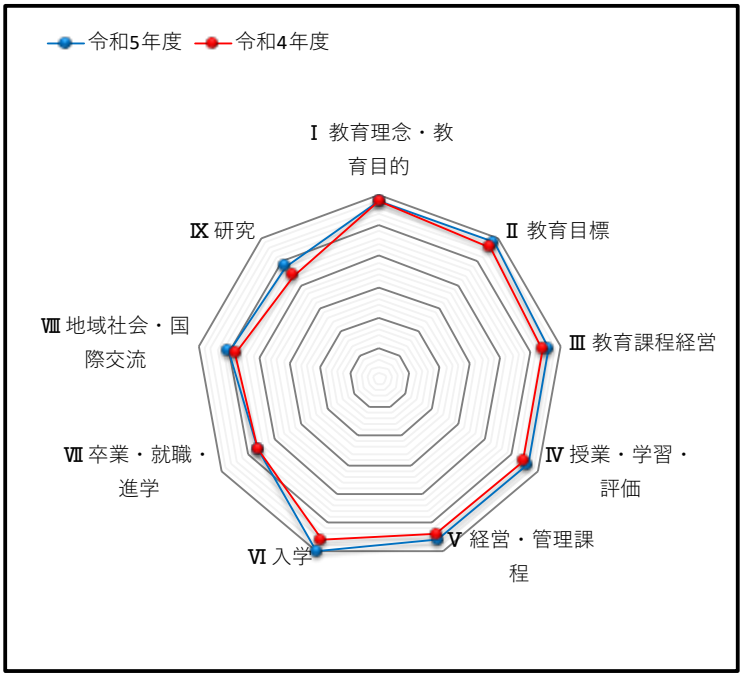


図1：令和5年度・4年度　学校運営評価カテゴリー別平均点の比較

結果

1．カテゴリー　表1、図1参照

平均点がＲ4年度より上がったカテゴリーは7カテゴリー

平均点がＲ4年度より下がったカテゴリーはなかった

2．項目では　（R4年度と平均点を比較し）

| | |
|---|---|
| 上昇した項目 | 120項目中61項目 |
| 同じ項目 | 120項目中32項目 |
| 低下した項目 | 120項目中27項目 |

結果及び分析

| | 大項目 | 結　果　及　び　分　析 |
|---|---|---|
| Ⅰ | 教育理念・教育目的 | ・カテゴリー平均値はR4年度と同じ2.9である。<br>・教育理念・教育目的が「卒業時に持つべき資質」と理解されている。また、「看護・看護基礎教育・学生観」についても学生便覧に記載されており、理解されている。 |
| Ⅱ | 教育目標 | ・カテゴリー平均値はＲ４年度から0.1上昇し、2.9である。教育目標、シラバスや授業計画から理解されていると判断する。「卒業後の学習に繋がる目標を設定している」はR4年度の2.9から0.2減少し2.7だった。教育理念や目的から降りてきている目標であるため、設定していることの理解が必要である。 |
| | | ・カテゴリーの平均値はR4年度から0.1上昇し2.8だった。<br>・0.1ポイント以上上昇している項目は、「時間割の調整」「科目単元と教育目標との整合性」、「本校の特徴を示した科目」、「評価基準と方法」「単位互換性」「単位未修科目の対応策」「専門性が発揮できる担当科目」「「授業準備時間の確保」「自己研鑽・相互研鑽のシステム」「臨地実習施設の理解」患者対象者の権利尊重の考え明示」「学生に対する倫理的配慮」「実習の安全教育実施」「インシデントの分析」である。理解が得られている状況と今後も継続していく。 |

| | | |
|---|---|---|
| Ⅲ | 教育課程・経営 | ・0.1ポイント以上低いのは「単元履修方法の柔軟な取入れ」「倫理規定を示している」「臨地実習の学生数の配置」「実習施設からの協力」「実習指導者と教員の役割」「実習指導者と教員の協力体制」である。「倫理規定を示している」に関しては、令和６年度、個人情報保護規定などの管理規定を運用する。研究に関する倫理規定も存在するため周知していく。その他、実習に関しては、全体的に看護師養成所の教育方法等の理解の部分であると考える。臨地実習の経験を積み、学習効果を考えた実習施設との調整はできるものと考える。また、実習指導者会議では指導者との意見交換ができる会の持ち方を検討していく。 |
| Ⅳ | 授業・学習・評価 | ・カテゴリーの平均値はR4年度と比較し、0.1ポイント上昇した。<br>・ほとんどが0.1～0.3ポイント上昇している。より具体的で各教員が意識して取り組んでいると判断する。<br>・0.1ポイント低下しているのは、「授業内容は当該学年として設定」「評価結果に基づき授業を改善」「授業目標の達成状況を多面的に把握」である。「授業内容は当該学年として設定」は新カリキュラム構築時、教育課程の構造図、科目の設定、シラバスを検討した結果の教育課程である。再度確認を促す。「評価結果に基づき授業を改善」「授業目標の達成状況を多面的に把握」に関して、授業評価を行っているが、記載事項が無記載であることから、評価の目的を理解していないのか、次年度に向けての展望がない場合がある。授業目標の達成をどうしていくかの教科としての考えは必要である。 |
| Ⅴ | 経営・管理課程 | ・カテゴリーの平均値はR4年度と比較し、0.1上昇している。<br>・0.1ポイント以上上昇は、管理者の考えを示し、意思決定システムを明確にしている。「自己学習できる環境の整備」「福利厚生の施設設備」「学生のボランティア活動支援」「学生生活の支援体制」「卒業生に対する相談」「保護者への情報提供」「広報活動」「学校運営評価の結果公表」「個人情報保護」である。理解されていると判断し、継続していく。<br>・0.1ポイント以上減少した項目は「財政基盤の理解」「管理者の考えに基づいた整備計画」「計画的な施設設備」「将来構想を実現するための目標設定」「「目標と長期展望との整合性」「自己点検・自己評価の知識と方法の理解」「自己点検・自己評価のフィードバック」「非常時の危機管理体制」である。「財政基盤の理解」に関しては都度事務から説明を続ける。「自己点検・自己評価の知識と方法の理解」は不明点があれば尋ねてほしい。「自己点検・自己評価のフィードバック」は次年度の重点目標で表している。「非常時の危機管理体制」は次年度の課題としている。 |
| Ⅵ | 入学 | ・カテゴリーの平均値はR4年度と比較し、0.2上昇している。<br>・入学者選抜については優秀な入学者の確保と定員確保に向けて、入試制度を変更した。入試制度の変更に伴い、選抜の公平性を担保するために、入学者選抜要項や内規の変更を行い、進めてきたことが理解されている。 |
| Ⅶ | 卒業・就職・進学 | ・カテゴリーの平均値はR4年度と同じ。<br>・0.1ポイント以上上昇しているのは「卒業時の到達状況」である。卒業時に卒業生からの自己評価をしている。また、看護技術ゼミナールでも確認している項目である。<br>・0.1ポイント以上低下しているのは、「卒業生に関する活動状況や就職先での評価」、「就職先と学校の意見交換」に関してである。R5年度の重点目標にも掲げたが、進んでいない状況である。今後の課題となる。 |
| Ⅷ | 地域社会・<br>国際交流 | ・カテゴリーの平均値はR4年度と比較し、0.1上昇している。<br>・0.1ポイント以上上昇しているのは「地域社会との連携」である。新カリにおいて「地域の実習」を実施し、地域との連携ができた。地域懇談会に出席していることからも理解されている。<br>・0.1ポイント低いのは「海外からの留学生受入体制」「留学や海外において看護職に就くことを希望する学生に対しての支援体制」である。過去、米国での看護師資格取得のための書類の整備等は行った。今後要請があったときに対応する。 |
| Ⅸ | 研究 | ・カテゴリーの平均値はR4年度から0.2上昇している。<br>・0.5上昇しているのは「研究活動を助言・検討している体制」である。次年度も研究活動を勧め、研究を支援しあう文化的素地を定着させたい。 |

評価

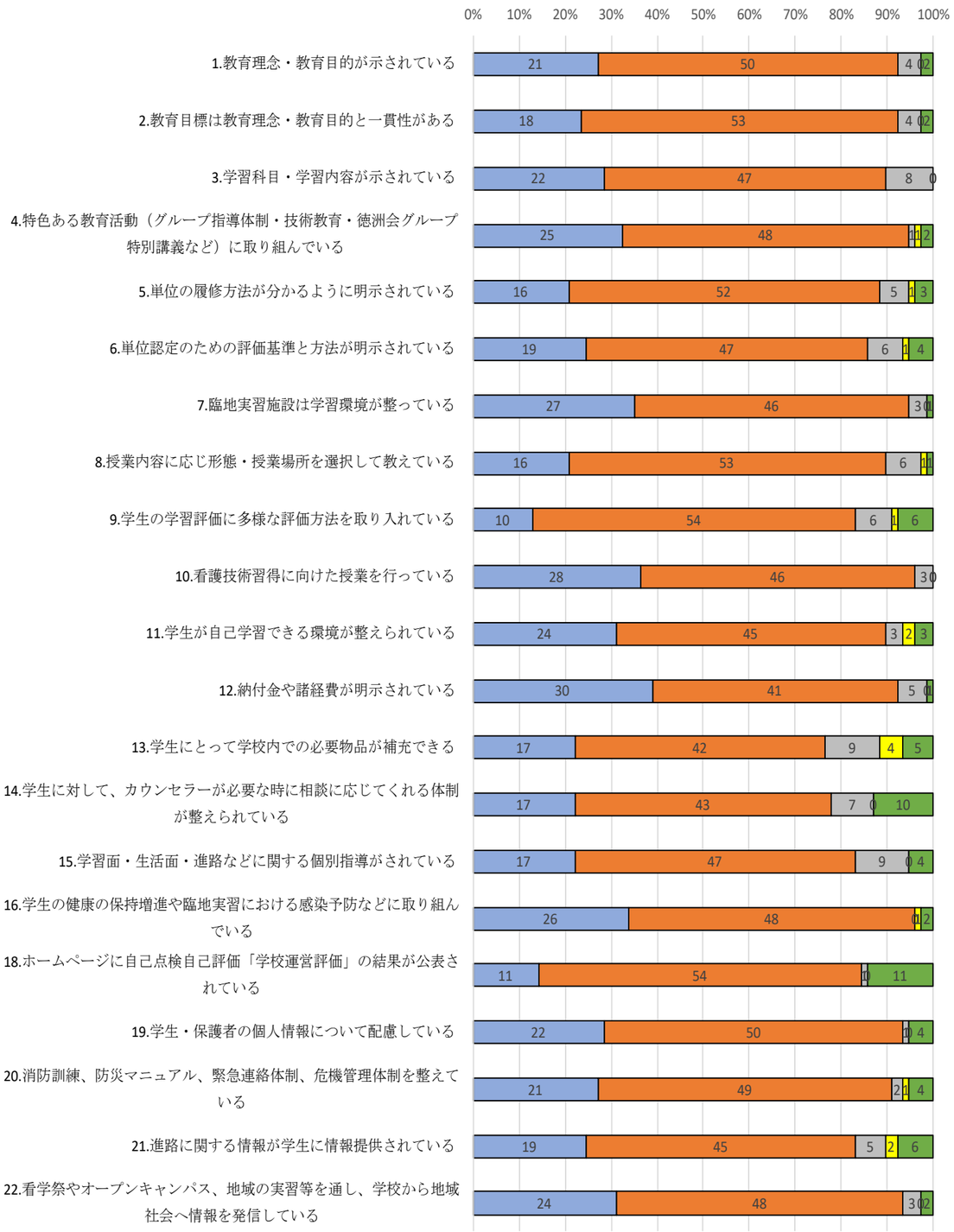
１．カテゴリーの平均値がＲ4年度より7カテゴリー上がったこと、下がったカテゴリーがなかったことことから、学校運営に関して理解されていると判断する。

２．今後の課題

| | | |
|---|---|---|
| Ⅲ | 教育課程・経営 | 教育課程の理解、臨地実習の在り方、臨地実習の学習支援について、専任教員の教育実践力UP |
| Ⅳ | 授業・学習・評価 | 授業の評価結果に基づく授業の改善方法、授業の達成目標の多面的把握の方法を具体的に自己研鑽する |
| Ⅴ | 経営・管理課程 | 学校設置主体の財政基盤から学校の財政についての周知。施設設備の計画的整備に関する情報提供と共有。危機管理体制規定の作成・運用 |
| Ⅶ | 卒業・就職・進学 | 卒業生に関する活動状況の把握や統計分析し、分析結果の活用 |

# 令和5年度　学校関係者評価（保護者）結果

n=77




| | |
|---|---|
| 1．教育理念・教育目的の明示 | よく当てはまる・だいたい当てはまるが90％以上でした。新入生保護者オリエンテーションや保護者会を通して、保護者のみな様にはご理解いただけました。 |
| 2．教育目標と教育理念・教育目的の一貫性 | |
| 3．学習科目・学習内容の明示 | |
| 4．特色ある教育活動に取り組み | よく当てはまる・だいたい当てはまるが90％以上でした。徳洲会グループの特徴である離島医療・看護やTMATの災害活動などの特別講義や災害看護の講義において十分ご理解いただけたと考えます。 |
| 5．単位の履修方法が分かるように明示 | よく当てはまる・だいたい当てはまるが80％台でした。新入生保護者オリエンテーションを対面で実施し、資料を用いて詳しい説明を行いました。 |
| 6．単位認定のための評価基準と方法が明示 | |
| 7．臨地実習施設が充実 | よく当てはまる・だいたい当てはまるが90％以上でした。多くの実習を受け入れている、仙台徳洲会病院が新しくなり、学習環境は整いました。3年生のアンケートにおいても、施設・物品の整備では高評価でした。 |
| 8．授業内容に応じ形態・授業場所の選択 | よく当てはまる・だいたい当てはまるが80％以上でした。シラバスをご覧いただくことでご理解いただいていると考えます。 |
| 9．学習評価に多様な評価方法を取り入れ | よく当てはまる・だいたい当てはまるが80％台でした。シラバスをご覧いただくと評価方法（筆記試験・レポート・実技試験・臨地実習など）が掲載されておりますのでご確認をお願いいたします。 |
| 10．看護技術習得に向けた授業 | よく当てはまる・だいたい当てはまるが90％以上でした。看護技術指導に力を入れているのが教育の特徴でもあり、今後も重点的に進めてまいります。 |
| 11．学生が自己学習できる環境整備 | よく当てはまる・だいたい当てはまるが90％以上でした。コロナが5類に移行し、講義室を元の位置に戻しました。図書室等での個人学習スペースが確保できました。 |
| 12．納付金や諸経費の内容が明示 | よく当てはまる・だいたい当てはまるが90％以上でした。学校案内や学生募集要項等、納付金の依頼文書においてご理解いただいていると考えます。 |
| 13．学生は学校内での必要物品の補充が可能 | よく当てはまる・だいたい当てはまるが70％台でした。学校内で必要物品が調達できる簡易な売店を設けておりましたが、現在は業者の自販機のみとなっております。この項目については引き続き検討してまいります。 |
| 14．カウンセラーが必要な時に相談に応じる体制 | よく当てはまる・だいたい当てはまるが70％台でした。カウンセラーは月1回学校に来ています。学生にも利用を進めておりますが、設問にあるように”必要な時に”という時間に関してはタイムラグがあると思われます。 |
| 15．学習面・生活面・進路などに関する個別指導 | よく当てはまる・だいたい当てはまるが80％台でした。本校の特徴の一つに個別指導がありますが、学校では学生が問題を解決できるように支援を行うことを基本としております。今後も一人ひとりにあった個別指導が |
| 16．学生の健康の保持増進や臨地実習における感染予防の取組み | よく当てはまる・だいたい当てはまるが90％以上でした。コロナが5類に移行してからも、学生生活や臨地実習対応ではご理解いただけたと考えます。今後も健康の保持増進、感染対策に取組んでまいります。 |
| 18．「学校運営評価」「学校関係者評価」の結果公表 | よく当てはまる・だいたい当てはまるが80％台でした。改善点や検討課題をまとめ、学校運営に活かしてまいります。 |
| 19．学生・保護者の個人情報への配慮 | よく当てはまる・だいたい当てはまるが90％以上でした。ご理解いただいていると考えます。 |
| 20．消防訓練、防災マニュアル、緊急連絡網の作成と危機管理体制の整備 | よく当てはまる・だいたい当てはまるが90％以上でした。近隣の駐在所や警察署からの情報提供をふまえ、学生に安全の確保を注意しております。今後は災害時の帰宅困難の対応をふまえ、学校・学生の安全を第一に考えてまいります。 |
| 21．学生への進路に関する情報提供 | よく当てはまる・だいたい当てはまるが80％台でした。進路に関する情報は個別指導でも行っており、ご理解いただいていると考えます。 |
| 22．学校から地域社会へ情報の発信 | よく当てはまる・だいたい当てはまるが90％以上でした。今後はさらに学校ホームページを活用し、みな様に学校を知っていただく機会とし、内容を工夫してまいります。 |